

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 115	提案機関名 水産課
要望問題名 アワビ等磯根資源増殖場の造成効果把握	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県では平成19年度から22年度にかけて、漁場整備事業により長井、芦名、城ヶ島、松輪の4箇所にアワビ等磯根資源増殖場を造成した。そこで継続的に効果の発現状況を把握するとともに、今後の新たな増殖場造成の際の適地選定に資する試験研究の実施をお願いしたい。内容として、各増殖場とその周辺におけるアワビ、イセエビ、カサゴ、メバルおよび餌料海藻等の増殖状況の把握と比較検討、漁場利用実態把握、アワビ幼生の発生と分散状況の把握等が考えられる。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備 考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 重要水産資源回復推進事業 (アワビ資源回復効果調査事業)			
対応の内容等 平成19年度より、アワビ資源の増大を図るため、県下4漁業協同組合(城ヶ島、松輪、長井、佐島地区)においてアワビ資源回復計画を策定し、再生産による資源回復を図るために、禁漁区の設定や種苗放流を実施して、再生産や環境等の調査研究を実施しております。28年度まで調査研究を継続しますので、その中で増殖効果のある適地や種苗放流・資源管理方法等を明らかにしていきたいと考えています。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 5～10年以内		
備 考			